

ひとつづくり委員会 事業計画

ひとつづくり委員会 委員長 上田 俊介

水戸市民は自身のもつ郷土愛を肯定的に考えられず、上手く発信できていない現状があり、まちのためを思い一人ひとりが自信をもち能動的に表現、行動できるように自己肯定感の高い市民を育成していくことが求められています。住み暮らすまちに誇りをもち、常に魅力を発信できる水戸肯定感の高い市民の増加と、能動的に行動し各々の立場に沿ったリーダーシップをもって先頭に立ち行動に移せる人材育成の機会の創出が必要となります。

まずは、住み暮らすまちの活性化を目指す主体性をもった人材を増やすために、気づけていない水戸の歴史や魅力を楽しく学び、考える機会を提供することで、愛するまちが発展するために積極的に発信することができる市民となります。そして、自己肯定感が低いと言われているこどもたちが主体性のある人材へと成長するために、原体験としてデジタルでは体感できない直に五感で感じる体験の場を提供することで、自らを尊重し、表現をする力が身につき、それぞれの得意分野で輝けるようになります。さらに、我々が住み暮らすまちを明るい豊かなものにするべく、能動的に活動していくために、組織において本当に必要なリーダーシップの重要性を学ぶセミナーに参加することで、単年度制という組織体制の中、想いの実現のため、他者を先導する真のリーダーシップを発揮できます。また、我々自身が組織の中でお互いのことを支え合える最高の存在となるために、実際にチームワークをもって、先進的な活動をしている有識者のセミナーを聴く機会を提供することで、各々が自分に必要な能力について考え、行動できる人材となり組織力が向上します。

多くの学ぶ機会に触れ自己肯定感が向上し、リーダーシップをもち積極的に行動できる人材へと成長し主体的な活動を行った我々は、内に秘めた水戸の魅力を自ら積極的に発信し、まちの活性化に繋がる行動が増加し、地域にとってなくてはならない存在となります。

<事業計画>

1. 水戸肯定感を高める「第49回ちびっ子広場」の開催
2. 原体験による自己肯定感向上の場の創出
3. シン・リーダー育成セミナーの開催
4. メンバーの共感による最高のチームワークの創出